

来年度の海部会活動方針（案）

■活動テーマ①：ごみ・流木問題

運営方針から見る活動内容

- 管理者の処理が行き届かない流木ごみの再漂流防止のため、市民活動での処理方法や再利用ニーズなどを調査する（個々に情報を持ち寄る）。
- 県が進めるごみ MAP への調査結果の活用検討など様々な関係者との連携を検討していく。

WG・振り返りシートから見る活動提案

- できれば山部会、海部会のメンバーにも調査に来てもらいたい。
- 山部会メンバーがくれば流木の種類がわかると思う。
- 水際と堤防沿いではごみの種類が異なるので網羅的に調査してもよいのではないか。
- これまでのごみ・流木調査の結果などの報告会や勉強会を実施してもよいのではないか。
- FM 愛知などのマスメディアとの連携で広報できれば多くの参加者が集まると思う。
- 今後、ごみの発生源調査をやってみてもよい。
- 根本的なごみ対策も考えていかなければならない。

《来年度の活動内容（例示）》

- ① **ごみ・流木調査の継続実施**
矢作川での出水後の調査／山・川部会と連携した調査／海底ごみ調査など
- ② **調査結果の整理・分析方法の検討**
ごみMAPの作成／調査結果のデータベース化／発生源等の特定方法の検討など
- ③ **流木等の自然由来の処理方法の検討**
市民活動での処理方法の検討／再利用ニーズ調査の実施／「木づかい」との連携など
- ④ **流域連携に向けたPR方法の検討**
調査結果報告会の実施／写真・パネル展の実施／パンフ・ポスター作成／他プロジェクトとの連携など

来年度の活動方針（案）

- ① **山・川と連携したごみ・流木調査の実施**
山・川部会メンバーと合同でごみ・流木調査を実施し、ごみ・流木の現状と問題意識を流域圏全体で共有するとともに、発生源の特定方法や「木づかい」と連携した流木再利用方法の検討などの解決策について意見交換を行う。
併せて、調査結果の活用、PR方法（データベース化、ごみMAP作成など）を検討する。
- ② **他団体の啓発イベントに参加して海部会の活動報告会を行う**
奈佐の浜プロジェクトや愛知県の啓発活動と連携し、海部会の活動報告などを行い、情報発信・共有を進める。また、主催団体や運営スタッフ等へのアンケート調査を行い、市民活動での処理方法や再利用ニーズ等に関する課題を把握する。

■活動テーマ②：豊かな海の生物調査

運営方針から見る活動内容

- 干潟現場見学会の実施
- 総合的な海の情報共有を推進する。
- ごみの生物影響に関する情報収集を実施する。
- 流域圏の干潟生物等のアーカイブ作成する（環境学習にも使える生き物パネル等の作成）。

WG・振り返りシートから見る活動提案

- 鳥と干潟と後背地の問題が関係していることがわかり視野が広がった。鳥を通じた干潟等の話は、別の機会勉強会などがあるとよい。
- 別水域になるが、宍道湖や諏訪湖における取組みに関する情報提供をしたい。
- 矢作ダムの砂を活用して干潟を造成できたら、せっかくなのでそこで生物調査を実施したい。

《来年度の活動内容（例示）》

- ① 干潟生物調査の継続実施
海部会構成団体の活動との連携
- ② 調査結果の活用方法の検討
調査結果のデータベース化／生き物パネルの作成／その他PR方法の検討など
- ③ 総合的な海の情報共有
生物影響ごみの情報収集／海底のごみ調査／干潟の必要性検討など

来年度の活動方針（案）

- ① 勉強会の開催
メンバーの専門性を活かして、鳥類の生態から豊かな海を考える勉強会の第二弾や別水域における環境再生の取組みの勉強会などを実施する。
- ② 生物モニタリング調査の計画の検討
河口干潟において、干潟生物調査を実施する。
矢作ダムの砂を活用して試験的に造成する干潟の効果を検証・PRするために、生物のモニタリング調査の計画を検討し、調査を行う。併せて、調査結果の活用、PR方法（データベース化、パネルや冊子作成など）を検討する。

■活動テーマ③：海と人との絆再生

運営方針から見る活動内容

- 海から遠のいてしまった子どもの遊び場としての干潟づくりを漁協等の関係者と検討する。
- 生き物調査や清掃活動などの環境学習への参加者の増加を目指した学校関係者等との意見交換を行う。
- 海での様々な活動者の発掘と活動支援を行う。
- 海への理解を深めるための勉強会や現地見学会を実施する。

WG・振り返りシートから見る活動提案

- 若い世代に三河湾・伊勢湾に残っている素晴らしさを伝え、海に関心を持ってもらいたい。
- 海の生き物を食べると子どもの関心も高まる。
- 海に行かないのは距離だけの問題ではない。行った先にも楽しみが必要。
- 水辺に人を集める工夫が必要。師崎漁港の朝市のように10年スパンくらいで取り組む必要がある。
- 海にアクセスするための駐車場や階段、海の駅のような飲食できる場所があるとよい。
- 漁業と環境産業の成功事例を三河湾でつくりたいか。
- 三河湾の環境や漁業の歴史がどう変わってきたか漁協の組合長から話を聞く機会を流域圏懇談会全体で儲けてはどうか。

《来年度の活動内容（例示）》

- ① 海に関心を持ってもらう啓発活動の実施
食イベント／小学生との交流イベント／学校関係者との意見交換など
- ② 干潟へのアクセス改善の検討
干潟の部分開放／干潟へのアクセス改善（改善個所の検討）など
- ③ 海での活動者の発掘・連携
三河湾での海の交流活動調査／部会構成団体の活動報告会の実施／活動連携の意向調査など

来年度の活動方針（案）

- ① 啓発イベントの検討・実施
矢作ダムの砂を活用して試験的に造成する干潟をフィールドとし、干潟観察や鳥類観察などのイベントを開催し、小学生や学校関係者との交流や啓発活動を行う。また、その中で干潟へのアクセス改善の検討を行う。
- ② 漁業者との交流会の企画提案
海部会がコアとなって漁業者との交流会の企画（人選やテーマ）を検討し、流域圏全体に提案を行う。

■活動テーマ④：干潟・ヨシ原再生

運営方針から見る活動内容

- 河口部の干潟・ヨシ原再生箇所における生き物のモニタリング調査を実施する。
- 今後の左岸河口部等の干潟再生事業箇所における望ましい再生の姿を検討する。
- 干潟現地見学会の実施
- ダム砂や川砂の実態調査や山地域との課題認識等の情報交換を実施する。

WG・振り返りシートから見る活動提案

- 山・川・海部会メンバーが集まってボートやバケツリレーなどの人力作業を組合せて砂を入れたい。
- 矢作ダムの砂で干潟をつくったらPRを推進すべき。
- 「矢作ダムの砂を入れた」で終わりではなく、イベントをしたり子どもを呼ぶ仕掛けを考えたり、土砂の意識を高めていくきっかけにしたい。
- 純粋に学問的なことだけでなく別のインパクトを期待したい。
- 記者発表をして子どもたちに参加を呼び掛けることも可能。
- せっかくなので生物調査も試験造成する干潟でやりたい。

《来年度の活動内容（例示）》

- ① 矢作ダムの砂を活用して試験造成する干潟のモニタリングの検討
環境モニタリング計画の検討／調査結果のデータベース化・公開方法の検討など
- ② 造成干潟のPR方法の検討
海部会構成団体との連携／記者発表／SNSの活用／学会発表など
- ③ 造成干潟の活用方策の検討
交流・啓発イベントの検討・実施／市民参加のモニタリング調査の検討など
- ④ 流域連携に向けた活動検討
山・川部会との情報共有・活動連携／愛知県西浦人工干潟との姉妹干潟交流・情報交換など

来年度の活動方針（案）

- ① 矢作ダムの砂を活用して試験造成する干潟の保全・活用方策の検討
矢作ダムの砂を活用して試験造成する干潟をフィールドとして、モニタリングや流域圏内外へのPR、活用方策などを検討し、他の3つのテーマを束ねながら流域連携を牽引する活動を実践する。